

暖かい春先の日差しに 「チャセンバイ(茶筌梅)」本日開花！ ほかの梅も見頃・福寿草も次々と

国営昭和記念公園（所在地：東京都立川市・昭島市。管理センター長：穂積計人）では、気温が 20 度にせまる中、「チャセンバイ（茶筌梅）」が本日開花しました。

開花しているのに、もう花びらが散ってしまったかのような不思議なウメ「チャセンバイ（茶筌梅）。花びらが退化して、残った雄しべ・雌しべが茶筌（チャセン）のように見えることからこの名前がつけられたと言われています。ウメの園芸品種は約 300 種類と言われていますが、チャセンバイは原種に近い野梅（やばい）系に位置付けられています。公園内に 87 品種あるウメの中でも珍しいものです（園内には 1 本）。

また、チャセンバイのある花木園では、他の種類の梅も見頃を迎え、その足元には「フクジュソウ」が次々と開花して、ウメとの共演をしています。着実に春に向かっていく園内の様子をご覧ください。

ご多忙とは存じますが、取材ならびに記事ご掲載の程、何卒よろしくお願いたします。



左がチャセンバイ。
花びらがほとんどない
ため雄しべと雌しべが
目立ちます。

右は足元に次々と咲
き始めているフクジュ
ソウ。公園内に合計
4,100 芽あります。



左は見頃を迎えた花木園内のウメ。
右は同じく花木園で開花している
シナマンサク。

（写真はいずれも 2/20 撮影）

お客さまからのお問合せ

国営昭和記念公園管理センター 042-528-1751 <http://www.showakinen-koen.jp>

取材申込み お問合わせ先

国営昭和記念公園管理センター 企画グループ 広報担当